

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2020-161990

(P2020-161990A)

(43) 公開日 令和2年10月1日(2020.10.1)

(51) Int.Cl.			F I			テーマコード (参考)		
HO4N	1/387	(2006.01)	HO4N	1/387	110	2C187		
GO6T	11/60	(2006.01)	GO6T	11/60	100A	5B050		
B41J	21/00	(2006.01)	B41J	21/00	Z	5B109		
GO6F	40/186	(2020.01)	GO6F	17/24	680	5C076		
GO6F	3/0484	(2013.01)	GO6F	3/0484		5E555		

審査請求 未請求 請求項の数 12 OL (全 19 頁)

(21) 出願番号 特願2019-59665 (P2019-59665)
 (22) 出願日 平成31年3月27日 (2019. 3. 27)

(71) 出願人 000005267
 ブラザー工業株式会社
 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号
 (74) 代理人 100104178
 弁理士 山本 尚
 (72) 発明者 伊藤 直人
 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号
 ブラザー工業株式会社内
 Fターム(参考) 2C187 AC05 AD05 AE01 AG08 CC04
 CD12 CD17 DB18 DB23
 5B050 BA06 BA16 CA07 DA10 EA07
 EA18 EA20 FA02 FA09 GA08
 5B109 ND02 RB32 VA02
 5C076 AA13 AA17 AA19
 5E555 AA03 AA24 BA09 BB09 BC11
 CC03 DB11 DC09 FA00

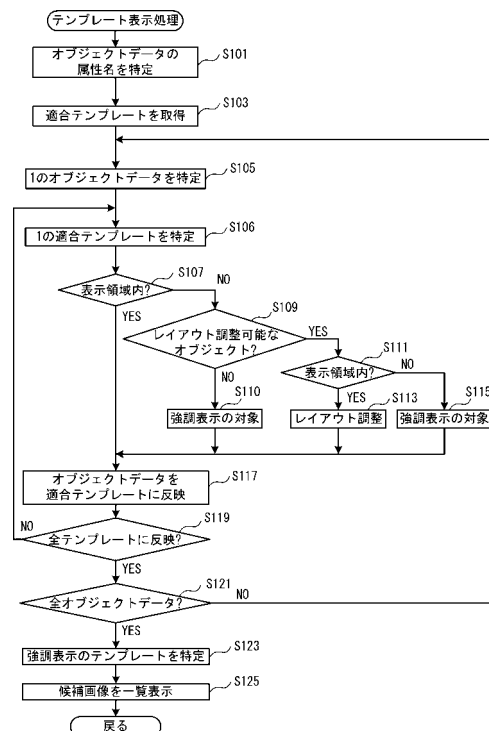
(54) 【発明の名称】 印刷装置及び画像編集プログラム

(57) 【要約】

【課題】本発明は、適切なテンプレートのみオブジェクトデータを反映し、且つユーザが所望のテンプレートを選択しやすい印刷装置及び画像編集プログラムを提供する。

【解決手段】CPUは、1以上のオブジェクトデータを受け付ける。CPUは、受け付けられた前記オブジェクトデータの属性名を夫々特定する(S101)。CPUは、フラッシュメモリに記憶された複数のテンプレートから、特定された全ての属性名に夫々対応する1以上の適合オブジェクトのみを備えた1以上の適合テンプレートを取得する(S103)。CPUは、取得された全ての前記適合テンプレートの夫々について、受け付けられた全ての前記オブジェクトデータの夫々を、オブジェクトデータの属性名に対応する適合オブジェクトに反映させる(S117)。CPUは、少なくとも1つの適合テンプレートを表示パネルに表示する(S125)。

【選択図】図6



所定の切替指示に応じて、前記表示手段により前記表示部に表示される前記候補画面を、前記全ての前記適合テンプレートが夫々表示された複数の前記候補画面の何れかに切り替え可能な切り替え部

を備えた

ことを特徴とする請求項 4 に記載の印刷装置。

【請求項 6】

前記適合テンプレートの夫々の前記オブジェクトは、前記オブジェクトデータが表示される予め定められた大きさの表示領域を夫々備え、

受け付けられた全ての前記オブジェクトデータが、取得された全ての前記適合テンプレートの夫々の前記適合オブジェクトに反映される場合に、受け付けられた前記オブジェクトデータが前記適合オブジェクトの前記表示領域に収まるか否かを、全ての前記適合オブジェクト毎に判断する第一判断手段と、

前記第一判断手段により前記表示領域に収まらないと判断された前記適合オブジェクト毎に、受け付けられた前記オブジェクトデータの前記表示領域へのレイアウト調整を夫々行うレイアウト調整手段と、

前記レイアウト調整手段により前記レイアウト調整された場合に、前記レイアウト調整された前記オブジェクトデータが前記表示領域に収まるか否かを、前記レイアウト調整された前記適合オブジェクト毎に判断する第二判断手段と、

前記第二判断手段により前記表示領域に収まらないと判断された前記適合オブジェクトを有する前記適合テンプレートを特定する第二特定手段と

を備え、前記表示手段は、前記反映手段により全ての前記オブジェクトデータが反映された全ての前記適合テンプレートのうち、前記第二特定手段により特定された前記適合テンプレートのみを表した前記候補画面を後に前記表示部に表示させる

ことを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の印刷装置。

【請求項 7】

前記適合テンプレートの夫々の前記オブジェクトは、前記オブジェクトデータが表示される予め定められた大きさの表示領域を夫々備え、

受け付けられた全ての前記オブジェクトデータが、取得された全ての前記適合テンプレートの夫々の前記適合オブジェクトに反映される場合に、受け付けられた前記オブジェクトデータが前記適合オブジェクトの前記表示領域に収まるか否かを、全ての前記適合オブジェクト毎に判断する第一判断手段と

前記第一判断手段により前記表示領域に収まらないと判断された前記適合オブジェクト毎に、受け付けられた前記オブジェクトデータの前記表示領域へのレイアウト調整を夫々行うレイアウト調整手段と、

前記レイアウト調整手段により前記レイアウト調整された場合に、前記レイアウト調整された前記オブジェクトデータが前記表示領域に収まるか否かを、前記レイアウト調整された前記適合オブジェクト毎に判断する第二判断手段とを備え、

前記表示手段は、前記表示部に表示された前記適合テンプレートの前記適合オブジェクトのうち、前記第二判断手段により前記表示領域に収まらないと判断された前記適合オブジェクトについて、強調表示する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 6 の何れか一つに記載の印刷装置。

【請求項 8】

前記第一特定手段は、特定された前記オブジェクト属性のうち、同一の前記オブジェクト属性を特定し、

前記反映手段は、取得された前記適合テンプレートの前記同一の前記オブジェクト属性を有する前記適合オブジェクトの何れかに対して、特定された前記同一の前記オブジェクト属性を有する前記オブジェクトデータの何れかを反映させる

ことを特徴とする請求項 1 に記載の印刷装置。

【請求項 9】

10

20

30

40

50

前記オブジェクト属性は、前記オブジェクトデータが反映される前記オブジェクトを特定する特定情報を含み、

前記第一特定手段は、受け付けられた前記オブジェクトデータの夫々の前記オブジェクト属性に含まれる前記特定情報を夫々特定し、

前記反映手段は、受け付けられた全ての前記オブジェクトデータを、取得された前記適合テンプレートの前記適合オブジェクトのうち、特定された前記特定情報と対応する前記適合オブジェクトに夫々反映させる

ことを特徴とする請求項 1 に記載の印刷装置。

【請求項 1 0】

印刷装置に印刷イメージの印刷を実行させる制御部を備えたコンピュータを、

10

1 以上のオブジェクトデータを受け付ける受付手段と、

前記受付手段により受け付けられた前記オブジェクトデータのオブジェクト属性を特定する第一特定手段と、

1 以上のオブジェクトを備えた複数のテンプレートが記憶された記憶部から、前記第一特定手段により特定された全ての前記オブジェクト属性に夫々対応する 1 以上の適合オブジェクトのみを備えた 1 以上の適合テンプレートを取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された全ての前記適合テンプレートの夫々について、前記受付手段により受け付けられた全ての前記オブジェクトデータの夫々を、前記オブジェクトデータのオブジェクト属性に対応する前記適合オブジェクトに反映させる反映手段と、

20

前記オブジェクトデータが反映された全ての前記適合テンプレートのうち、少なくとも 1 つの前記適合テンプレートを表示部に表示する表示手段と、

前記表示手段により表示された前記適合テンプレートのうち、何れかの前記適合テンプレートの選択を受け付ける選択手段と、

前記選択手段により選択された前記適合テンプレートに基づき、前記印刷装置に印刷対象物への印刷を実行させる印刷手段

として機能させることを特徴とする画像編集プログラム。

【請求項 1 1】

1 以上のオブジェクトを備えた複数のテンプレートが記憶された記憶部と、

1 以上のオブジェクトデータを受け付ける受付手段と、

前記受付手段により受け付けられた前記オブジェクトデータのオブジェクト数を特定する第一特定手段と、

30

前記記憶部に記憶された前記複数のテンプレートから、前記第一特定手段により特定された前記オブジェクト数と同数の前記オブジェクトを備えた 1 以上の適合テンプレートを取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された全ての前記適合テンプレートの夫々について、前記受付手段により受け付けられた全ての前記オブジェクトデータの夫々を、前記オブジェクトデータに対応する前記オブジェクトに反映させる反映手段と、

前記オブジェクトデータが反映された全ての前記適合テンプレートのうち、少なくとも 1 つの前記適合テンプレートを表示部に表示する表示手段と、

40

前記表示手段により表示された前記適合テンプレートのうち、何れかの前記適合テンプレートの選択を受け付ける選択手段と、

前記選択手段により選択された前記適合テンプレートに基づき、印刷対象物に印刷を実行する印刷手段と

を備えたことを特徴とする印刷装置。

【請求項 1 2】

印刷装置に印刷イメージの印刷を実行させる制御部を備えたコンピュータを、

1 以上のオブジェクトデータを受け付ける受付手段と、

前記受付手段により受け付けられた前記オブジェクトデータのオブジェクト数を特定する第一特定手段と、

1 以上のオブジェクトを備えた複数のテンプレートが記憶された記憶部から、前記第一

50

特定手段により特定された前記オブジェクト数と同数の前記オブジェクトを備えた 1 以上の適合テンプレートを取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された全ての前記適合テンプレートの夫々について、前記受付手段により受け付けられた全ての前記オブジェクトデータの夫々を、前記オブジェクトデータに対応する前記オブジェクトに反映させる反映手段と、

前記オブジェクトデータが反映された全ての前記適合テンプレートのうち、少なくとも 1 つの前記適合テンプレートを表示部に表示する表示手段と、

前記表示手段により表示された前記適合テンプレートのうち、何れかの前記適合テンプレートの選択を受け付ける選択手段と、

前記選択手段により選択された前記適合テンプレートに基づき、前記印刷装置に印刷対象物への印刷を実行させる印刷手段

として機能させることを特徴とする画像編集プログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、印刷装置及び画像編集プログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

特許文献 1 は、印刷イメージを編集できる印刷装置を開示する。印刷装置は、複数のテンプレートを備える。複数のテンプレートは、複数のオブジェクトが各々配置され、各オブジェクトに表示されるテキスト等の位置、文字サイズ、及び表示領域等が定められている。ユーザは、表示部に表示されたテンプレートのオブジェクトを選択し、例えば、選択されたオブジェクトに表示されるテキスト等のオブジェクトデータを編集する。編集されたオブジェクトデータは、対応するテンプレートのオブジェクトに反映される。ユーザは、オブジェクトデータが反映された複数のテンプレートから、1 つのテンプレートを印刷イメージとして選択する。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2005 - 250944 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

上記印刷装置は、複数のテンプレートが表示部に表示される場合に、印刷したい所望のオブジェクトのオブジェクト属性と対応するオブジェクトのみを備えた適切なテンプレートのみならず、所望のオブジェクトのオブジェクト属性と異なる属性のオブジェクトを備えたテンプレートが表示される場合がある。従って、印刷装置は、適切なテンプレートのみオブジェクトデータを反映できない可能性がある。また、印刷装置は、所望のオブジェクト属性を有するオブジェクトのみからなるテンプレートとは異なるオブジェクト属性を有するオブジェクトを備えたテンプレートに、オブジェクトデータが反映されて表示されると、ユーザが所望のテンプレートを選択しにくくなるという可能性がある。

【0005】

本発明の目的は、適切なテンプレートのみオブジェクトデータを反映し、且つユーザが所望のテンプレートを選択しやすい印刷装置及び画像編集プログラムを提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明の第一態様に係る印刷装置は、1 以上のオブジェクトを備えた複数のテンプレートが記憶された記憶部と、1 以上のオブジェクトデータを受け付ける受付手段と、前記受付手段により受け付けられた前記オブジェクトデータのオブジェクト属性を夫々特定する

10

20

30

40

50

第一特定手段と、前記記憶部に記憶された前記複数のテンプレートから、前記第一特定手段により特定された全ての前記オブジェクト属性に夫々対応する1以上の適合オブジェクトのみを備えた1以上の適合テンプレートを取得する取得手段と、前記取得手段により取得された全ての前記適合テンプレートの夫々について、前記受付手段により受け付けられた全ての前記オブジェクトデータの夫々を、前記オブジェクトデータの前記オブジェクト属性に対応する前記適合オブジェクトに反映させる反映手段と、前記オブジェクトデータが反映された全ての前記適合テンプレートのうち、少なくとも1つの前記適合テンプレートを表示部に表示する表示手段と、前記表示手段により表示された前記適合テンプレートのうち、何れかの前記適合テンプレートの選択を受け付ける選択手段と、前記選択手段により選択された前記適合テンプレートに基づき、印刷対象物に印刷を実行する印刷手段とを備えたことを特徴とする。

10

【0007】

上記第一態様に係る印刷装置によれば、印刷装置は、受け付けられたオブジェクトデータの全てのオブジェクト属性に夫々対応する1以上の適合オブジェクトのみを備えた1以上の適合テンプレートを取得する。印刷装置は、受け付けられた全てのオブジェクトデータを、取得された適合テンプレートに反映する。また、印刷装置は、受け付けられた全てのオブジェクトデータが反映された適合テンプレートを、表示部に表示する。故に、印刷装置は、適切なテンプレートのみオブジェクトデータを反映し、且つユーザが所望のテンプレートを選択しやすい。

20

【0008】

本発明の第二態様に係る画像編集プログラムは、印刷装置に印刷イメージの印刷を実行させる制御部を備えたコンピュータを、1以上のオブジェクトデータを受け付ける受付手段と、前記受付手段により受け付けられた前記オブジェクトデータのオブジェクト属性を特定する第一特定手段と、1以上のオブジェクトを備えた複数のテンプレートが記憶された記憶部から、前記第一特定手段により特定された全ての前記オブジェクト属性に夫々対応する1以上の適合オブジェクトのみを備えた1以上の適合テンプレートを取得する取得手段と、前記取得手段により取得された全ての前記適合テンプレートの夫々について、前記受付手段により受け付けられた全ての前記オブジェクトデータの夫々を、前記オブジェクトデータの前記オブジェクト属性に対応する前記適合オブジェクトに反映させる反映手段と、前記オブジェクトデータが反映された全ての前記適合テンプレートのうち、少なくとも1つの前記適合テンプレートを表示部に表示する表示手段と、前記表示手段により表示された前記適合テンプレートのうち、何れかの前記適合テンプレートの選択を受け付ける選択手段と、前記選択手段により選択された前記適合テンプレートに基づき、前記印刷装置に印刷対象物への印刷を実行させる印刷手段として機能させることを特徴とする。

30

【0009】

上記第二態様に係る画像編集プログラムによれば、画像編集プログラムは、コンピュータを上記手段として機能させることにより、第一態様の印刷装置と同じ効果を得ることができる。

【0010】

本発明の第三態様に係る印刷装置は、1以上のオブジェクトを備えた複数のテンプレートが記憶された記憶部と、1以上のオブジェクトデータを受け付ける受付手段と、前記受付手段により受け付けられた前記オブジェクトデータのオブジェクト数を特定する第一特定手段と、前記記憶部に記憶された前記複数のテンプレートから、前記第一特定手段により特定された前記オブジェクト数と同数の前記オブジェクトを備えた1以上の適合テンプレートを取得する取得手段と、前記取得手段により取得された全ての前記適合テンプレートの夫々について、前記受付手段により受け付けられた全ての前記オブジェクトデータの夫々を、前記オブジェクトデータに対応する前記オブジェクトに反映させる反映手段と、前記オブジェクトデータが反映された全ての前記適合テンプレートのうち、少なくとも1つの前記適合テンプレートを表示部に表示する表示手段と、前記表示手段により表示された前記適合テンプレートのうち、何れかの前記適合テンプレートの選択を受け付ける選択

40

50

手段と、前記選択手段により選択された前記適合テンプレートに基づき、印刷対象物に印刷を実行する印刷手段とを備えたことを特徴とする。

【0011】

上記第三態様に係る印刷装置によれば、印刷装置は、受け付けられたオブジェクトデータのオブジェクト数と同数のオブジェクトを備えた1以上の適合テンプレートを取得する。印刷装置は、受け付けられた全てのオブジェクトデータを、適合テンプレートに反映する。また、印刷装置は、受け付けられた全てのオブジェクトデータが反映された適合テンプレートを、表示部に表示する。故に、印刷装置は、適切なテンプレートのみオブジェクトデータを反映し、且つユーザが所望のテンプレートを選択しやすい。

【0012】

本発明の第四態様に係る画像編集プログラムは、印刷装置に印刷イメージの印刷を実行させる制御部を備えたコンピュータを、1以上のオブジェクトデータを受け付ける受付手段と、前記受付手段により受け付けられた前記オブジェクトデータのオブジェクト数を特定する第一特定手段と、1以上のオブジェクトを備えた複数のテンプレートが記憶された記憶部から、前記第一特定手段により特定された前記オブジェクト数と同数の前記オブジェクトを備えた1以上の適合テンプレートを取得する取得手段と、前記取得手段により取得された全ての前記適合テンプレートの夫々について、前記受付手段により受け付けられた全ての前記オブジェクトデータの夫々を、前記オブジェクトデータに対応する前記オブジェクトに反映させる反映手段と、前記オブジェクトデータが反映された全ての前記適合テンプレートのうち、少なくとも1つの前記適合テンプレートを表示部に表示する表示手段と、前記表示手段により表示された前記適合テンプレートのうち、何れかの前記適合テンプレートの選択を受け付ける選択手段と、前記選択手段により選択された前記適合テンプレートに基づき、前記印刷装置に印刷対象物への印刷を実行させる印刷手段として機能させることを特徴とする。

【0013】

上記第四態様に係る画像編集プログラムによれば、画像編集プログラムは、コンピュータを上記手段として機能させることにより、第三態様の印刷装置と同じ効果を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】印刷装置18の電機的構成を示すブロック図である。

【図2】テンプレート111とテンプレート情報112を示す図である。

【図3】テンプレート111のオブジェクト情報A～Cを示す図である。

【図4】オブジェクトデータが反映されたテンプレート111を示す図である。

【図5】画像編集処理のフローチャートである。

【図6】テンプレート表示処理のフローチャートである。

【図7】表示パネル31に表示されたオブジェクトデータの入力画面33を示す図である。

【図8】表示パネル31に表示された候補画面65を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0015】

以下、本発明の一実施形態について、図面を参照して説明する。これらの図面は、本発明が採用しうる技術的特徴を説明するために用いられるものである。記載されている装置の構成、各種処理のフローチャート等は、それのみに限定する趣旨ではなく、単なる説明例である。

【0016】

図1を参照して、印刷装置18の概要を説明する。印刷装置18は、長尺状の印刷媒体であるテープMにキャラクタ(文字、記号、図形など)を印刷して、貼り付け可能なラベルを作成する小型のラベルプリンタである。印刷装置18は、ラベルの印刷内容を示すラベル画像を編集する。

10

20

30

40

50

【 0 0 1 7 】

図 1 を参照して、印刷システム 1 の電氣的構成を説明する。印刷装置 1 8 は、CPU 2 1、ROM 2 2、CGROM 2 3、RAM 2 4、及びフラッシュメモリ 2 5 を備える。ROM 2 2、CGROM 2 3、RAM 2 4、及びフラッシュメモリ 2 5 は、夫々 CPU 2 1 に電氣的に接続されている。ROM 2 2 には、印刷装置 1 8 の制御上必要な各種のプログラム等が記憶されている。CPU 2 1 は、これらのプログラムに基づいて各種演算を行う。

【 0 0 1 8 】

CGROM 2 3 には、各種キャラクタを印刷するための印刷用ドットパターンデータが、書式及びサイズ毎に分類され、コードデータに対応させて記憶されている。RAM 2 4 には、テキストメモリ、及びプリントバッファ等、複数の記憶エリアが設けられている。テキストメモリには、後述のオブジェクトデータが属性名と対応付けて格納される。プリントバッファには、後述の候補画像 1 1 1 A ~ 1 1 1 D 等の印刷用ドットパターンが格納される。その他記憶エリアには、各種演算データ等が記憶される。

10

【 0 0 1 9 】

フラッシュメモリ 2 5 は、印刷装置 1 8 に装着された印刷媒体の属性が定義されたテンプレート 1 1 1 を記憶する。テンプレート 1 1 1 には、例えば、後述のテンプレート情報の ID の各々に対応づけて、テープ M の幅 W、オブジェクト数等が定義されている。幅 W は、印刷媒体であるテープ M の幅（長手方向に直交する方向の長さ）である。フラッシュメモリ 2 5 は、更に、オブジェクト 1 1 5 のオブジェクト情報が記憶されている。詳細は後述する。

20

【 0 0 2 0 】

図 1 に示すように、印刷装置 1 8 は更に、検出部 6、操作部 7、表示パネル 3 1、及び駆動回路 1 2 ~ 1 5 を備える。検出部 6、操作部 7、及び駆動回路 1 2 ~ 1 5 は各々、CPU 2 1 に電氣的に接続されている。検出部 6 は、印刷装置 1 8 に装着されたテープ M の種類を検出する公知のセンサである。操作部 7 は、印刷装置 1 8 (CPU 2 1) に各種指示を入力するのに用いられる。操作部 7 は、例えば、タッチパネルである。操作部 7 は、ユーザがテキストデータ等のオブジェクトデータを入力する際に使用される。操作部 7 は、各種指示を入力できればよく、スイッチ、ダイヤル等の他の構成でもよい。

30

【 0 0 2 1 】

表示パネル 3 1 は、例えば、液晶ディスプレイ (LCD) である。表示パネル 3 1 は、後述の入力画面 3 3 (図 7 参照)、候補画面 6 5 (図 8 参照) を表示可能である。駆動回路 1 2 は、表示パネル 3 1 にキャラクタ等を出力するための電子回路である。駆動回路 1 3 は、テープ M を搬送するテープ送りモータ 9 を駆動するための電子回路である。駆動回路 1 4 は、サーマルヘッド 1 0 を駆動するための電子回路である。駆動回路 1 5 は、移動刃 (図示略) を動作させるカッターモータ 1 1 を駆動するための電子回路である。移動刃は、印刷装置 1 8 の外部に排出される印刷済みのテープ M を切断する。

【 0 0 2 2 】

図 2 (A)、(B) を参照して、一例として、ラベル画像を作成するためのテンプレート 1 1 1 について説明する。テンプレート 1 1 1 のテンプレート情報は、フラッシュメモリ 2 5 に記憶されている。図 2 (A) に示すように、テンプレート 1 1 1 は、オブジェクト 1 1 5 A、1 1 5 B、1 1 5 C を備える。オブジェクト 1 1 5 A は、ラベル画像のタイトルが表示される。オブジェクト 1 1 5 B は、テキストが表示される。オブジェクト 1 1 5 C は、テキストが表示される。なお、タイトル、テキスト等のオブジェクトデータの入力については、後述の入力画面 3 3 (図 7 参照) により入力される。

40

【 0 0 2 3 】

テンプレート 1 1 1 のサイズ、オブジェクト数は、テンプレート情報 (図 2 (B)) に基づき定義される。図 2 (B) に示すように、テンプレート情報は、ID、幅、長さ、オブジェクト数の情報を備える。テンプレート 1 1 1 のテンプレート情報の ID は、『1』である。テンプレート 1 1 1 の幅は、『36mm』であり、上記したテープ M の幅 W と対

50

応する。テンプレート 1 1 1 の長さは、『1 0 0 mm』である。オブジェクト数は『3』である。すなわち、ID が『1』のテンプレート 1 1 1 は、3 6 mm × 1 0 0 mm の大きさで、且つオブジェクト数が 3 で構成されている。なお、フラッシュメモリ 2 5 は、テンプレート 1 1 1 を複数記憶している。また、フラッシュメモリ 2 5 には、テンプレート 1 1 1 毎にテンプレート情報（図示略）が記憶されている。

【0 0 2 4】

図 2 (A) に示すオブジェクト 1 1 5 A ~ 1 1 5 C の配置位置、大きさ等は、オブジェクト情報 A ~ C (図 3 参照) で定義されている。オブジェクト情報 A ~ C は、テンプレート 1 1 1 (図 2 (A)) 及びテンプレート情報 (図 2 (B)) と関連付けてフラッシュメモリ 2 5 に記憶されている。

10

【0 0 2 5】

図示しないが、複数のテンプレート 1 1 1 のテンプレート情報には、オブジェクト数に『1』~『5』の何れかが夫々割り当てられている。例えば、ID が『1』のテンプレート 1 1 1 は、1 2 mm × 1 0 0 mm の大きさで、且つオブジェクト数が 1 で構成されている。また、例えば、ID が『2 0』のテンプレート 1 1 1 は、3 6 mm × 1 5 0 mm の大きさで、且つオブジェクト数が 5 で構成されている。また、本例では、ID が『9』~『1 2』のテンプレート 1 1 1 は、オブジェクト数が 3 で構成されているものとする。

【0 0 2 6】

図 3 を参照して、オブジェクト情報 A、B、C について説明する。オブジェクト情報 A、B、C は、属性名、位置 X、位置 Y、縦サイズ、横サイズ、データタイプ、書式、レイアウト調整の情報が夫々記憶されている。なお、テンプレート 1 1 1 (図 2 (A) 参照) のオブジェクト情報の数は、テンプレート情報のオブジェクト数の『3』と同数である。

20

【0 0 2 7】

オブジェクト情報 A は、テンプレート 1 1 1 のオブジェクト 1 1 1 A と対応する情報である。属性名は、『T i t l e 1』である。属性名の『T i t l e 1』は、テンプレート 1 1 1 のオブジェクト 1 1 5 A の属性名『T i t l e 1』と対応する。位置 X は、『2 5 d o t』であり、位置 Y は、『2 5 d o t』である。位置 X と位置 Y から、テンプレート 1 1 1 におけるオブジェクト 1 1 5 A の中心位置が定義される。縦サイズは、『1 0 0 d o t』であり、横サイズは、『8 0 0 d o t』である。縦サイズと横サイズからオブジェクト 1 1 5 A の表示領域が定義される。データタイプは、『テキスト』である。書式は、『ゴシック』、『2 0 p t』、『太字』である。レイアウト調整は、『文字サイズ調整不可』、『改行不可』に設定されている。

30

【0 0 2 8】

オブジェクト情報 B は、テンプレート 1 1 1 のオブジェクト 1 1 1 B と対応する情報である。属性名は、『T e x t 1』である。属性名の『T e x t 1』は、テンプレート 1 1 1 のオブジェクト 1 1 5 B の属性名『T e x t 1』と対応する。位置 X は、『2 5 d o t』であり、位置 Y は、『1 5 0 d o t』である。位置 X と位置 Y から、テンプレート 1 1 1 におけるオブジェクト 1 1 5 B の中心位置が定義される。縦サイズは、『2 0 0 d o t』であり、横サイズは、『5 0 0 d o t』である。縦サイズと横サイズからオブジェクト 1 1 5 B の表示領域が定義される。データタイプは、『テキスト』である。書式は、『ゴシック』、『1 8 p t』である。レイアウト調整は、『文字サイズ調整不可』、『改行可』に設定されている。

40

【0 0 2 9】

オブジェクト情報 C は、テンプレート 1 1 1 のオブジェクト 1 1 1 C と対応する情報である。属性名は、『T e x t 2』である。属性名の『T e x t 2』は、テンプレート 1 1 1 のオブジェクト 1 1 5 C の属性名『T e x t 2』と対応する。位置 X は、『5 5 0 d o t』であり、位置 Y は、『1 5 0 d o t』である。位置 X と位置 Y から、テンプレート 1 1 1 におけるオブジェクト 1 1 5 C の中心位置が定義される。縦サイズは、『2 0 0 d o t』であり、横サイズは、『2 7 5 d o t』である。縦サイズと横サイズからオブジェクト 1 1 5 C の表示領域が定義される。データタイプは、『テキスト』である。書式は、『

50

ゴシック』、『20pt』である。レイアウト調整は、『文字サイズ調整可』、『改行不可』に設定されている。

【0030】

図4(A)、(B)を参照して、オブジェクト115A~115Cに対するオブジェクトデータ等の反映について説明する。ユーザは、後述で詳細する入力画面33でオブジェクトデータを入力する。オブジェクトデータは、『Template Label』、『Created by Brother』、『2019/01/31』が入力されたとする。なお、詳細は後述するが『Template Label』は、属性名が『Title1』であり、『Created by Brother』は、属性名が『Text1』であり、『2019/01/31』は、属性名が『Text2』に対応すると仮定する。

10

【0031】

図4(A)に示すように、『Template Label』は、テンプレート111の対応する属性名『Title1』のオブジェクト115Aに反映される。『Created by Brother』は、対応する属性名『Text1』のオブジェクト115Bに反映される。『2019/01/31』は、対応する属性名『Text2』のオブジェクト115Cに反映される。

【0032】

図4(A)を参照して、レイアウト調整について説明する。オブジェクトデータのデータサイズと、オブジェクト115A~115Cの夫々の表示領域のサイズの関係で、オブジェクトデータが表示領域に収まらない場合がある。この場合、対応する属性名のオブジェクト情報A~Cからレイアウト調整の欄を参照し、レイアウト調整可能か判断する。レイアウト調整が設定されている場合には、レイアウト調整が行われる。

20

【0033】

図4(A)に示すように、『Template Label』のデータサイズは、オブジェクト情報Aで定義されるオブジェクト115Aの表示領域に収まるサイズである。このため、『Template Label』は、レイアウト調整なしの状態、オブジェクト115Aに反映される(図4(A)参照)。

【0034】

図4(A)に示すように、『Created by Brother』のデータサイズは、オブジェクト情報Bで定義されるオブジェクト115Bの表示領域に収まらないサイズである。オブジェクト115Bのオブジェクト情報Bのレイアウト調整は、『文字サイズ調整不可』、『改行可』に設定されている。これにより、『Created by Brother』は、自動で改行された状態で、オブジェクト115Bに反映される。

30

【0035】

図4(A)に示すように、『2019/01/31』のデータサイズは、オブジェクト情報Cで定義されるオブジェクト115Cの表示領域に収まらないサイズである。オブジェクト115Cは、レイアウト調整が『文字サイズ調整可』、『改行不可』に設定されている。これにより、『2019/01/31』は、文字サイズが調整された状態で、オブジェクト115Cに反映される。

【0036】

40

図4(B)のテンプレート111を参照して、強調表示について説明する。なお、説明の簡略化のため、テンプレート111のテンプレート情報は、図2(B)に示すものと同じとする。また、オブジェクト115A、115Bのオブジェクト情報は、図3に示すオブジェクト情報A、Bと同じとする。オブジェクト115Cのオブジェクト情報は、図3に示すオブジェクト情報Cとは、レイアウト調整の設定のみが異なるとする(図示略)。この場合、図示しないが、レイアウト調整は、『文字サイズ調整不可』、『改行不可』と設定されているとする。反映されるオブジェクトデータは、図4(A)の場合と同じである。

【0037】

図4(B)のオブジェクト115A、115Bには、図4(A)と同様に、『Temp

50

late Label』、『Created by Brother』が反映されている。図4(B)のオブジェクト115Cでは、『2019/01/31』は、オブジェクト情報で定義されるオブジェクト115Cの表示領域に収まらないサイズである。オブジェクト情報のレイアウト調整は、『文字サイズ調整不可』、『改行不可』と設定されている。従って、『2019/01/31』は、オブジェクト情報に従い、レイアウト調整なしでそのままオブジェクト115Cに表示される。この場合、『2019/01/31』のうち『/31』は、オブジェクト115Cの表示領域に表示されない(図4(B)参照)。この場合、オブジェクト115Cは、背景が黒色且つ文字の色が白で強調表示される。

【0038】

なお、オブジェクトが、上記のオブジェクト115A~115Cに限られない場合に、単に、オブジェクト115と称す場合がある。オブジェクト115のオブジェクト情報が、上記のオブジェクト情報A~Cに限られない場合に、単に、オブジェクト情報と称す場合がある。また、テンプレート111は、画像を表示可能なオブジェクト115を備えるものもある。この場合、オブジェクト情報の属性名が、例えば、[Image1]、[Image2]となる。

【0039】

図5~図8を参照して、画像編集処理を説明する。画像編集処理(図5参照)は、印刷装置18の電源が投入されると、CPU21は、ROM22からプログラムを読み出して実行する。CPU21は、プログラムを実行することにより、画像編集処理を開始する。画像編集処理では、まず、CPU21は、オブジェクトデータの入力画面33(図7参照)を表示パネル31に表示する(S1)。

【0040】

図7を参照して、入力画面33について説明する。入力画面33は、入力部11A~11Eを備える。ユーザは、操作部7の操作により入力画面33の入力部11A~11Eを選択して、オブジェクトデータを入力する。なお、ユーザは、画像を印刷したい場合には、操作部7の操作により入力部11D又は11Eを選択して、例えば画像のオブジェクトデータを入力する。画像のオブジェクトデータは、例えば、『 』である。

【0041】

入力部11A~11Eの左側にある[Title1]、[Text1]、[Text2]、[Image1]、[Image2]の表記は、オブジェクト情報の属性名に対応する。従って、入力部11Aに入力されたオブジェクトデータは、オブジェクト情報の属性名『Title1』と対応する。入力部11Bに入力されたオブジェクトデータは、オブジェクト情報の属性名『Text1』と対応する。入力部11Cに入力されたオブジェクトデータは、オブジェクト情報の属性名『Text2』と対応する。入力部11Dに入力されたオブジェクトデータは、オブジェクト情報の属性名『Image1』と対応する。入力部11Eに入力されたオブジェクトデータは、オブジェクト情報の属性名『Image2』と対応する。

【0042】

本例では、ユーザは、操作部7を操作して、入力部11Aに対して、オブジェクトデータとして『Template Label』を入力する。次いで、ユーザは、操作部7を操作して、入力部11Bに対して、『Created by Brother』と入力する。更に、ユーザは、操作部7を操作して、入力部11Cに対して、『2019/01/31』と入力する。ユーザは、所望のオブジェクトデータの入力完了すると、操作部7を操作して、実行ボタン5を選択する。

【0043】

CPU21は、オブジェクトデータの入力があったか否か判断する(S3)。CPU21は、入力画面33の実行ボタン5(図7参照)が選択された場合に、オブジェクトデータが入力されたと判断する。オブジェクトデータの入力がないと判断した場合(S3:NO)、CPU21は、処理をS3に戻して待機する。オブジェクトデータの入力があったと判断した場合(S3:YES)、CPU21は、入力画面33で入力されたオブジェク

10

20

30

40

50

トデータを受け付ける（S5）。この場合、RAM24には、受け付けたオブジェクトデータと共に、入力されたオブジェクトデータの入力部11A～11Eの位置に応じた、属性名『Title1』、『Text1』、『Text2』、『Image1』、『Image2』の何れかの情報を、対応づけて記憶する（S5）。

【0044】

次いで、CPU21は、図6に示すテンプレート表示処理を行う（S7）。CPU21は、S5の処理で記憶された全てのオブジェクトデータの属性名を、RAM24を参照して特定する（S101）。本例では、CPU21は、入力部11A～11Cと対応する属性名の『Title1』、『Text1』、『Text2』を特定する。

【0045】

次いで、CPU21は、フラッシュメモリ25に記憶された全てのテンプレート111のうち、受け付けたオブジェクトデータの属性名と、同一の属性名のオブジェクト情報を備えたオブジェクト115のみで構成される全てのテンプレート111を特定する（S103）。

【0046】

本例では、CPU21は、フラッシュメモリ25に記憶されたテンプレート111のうち、属性名が『Title1』、『Text1』、『Text2』のみで構成されるテンプレート111を全て取得する。以下、S103の処理で特定されたテンプレート111を総称して『適合テンプレート111』ともいう。また、適合テンプレート111が備えるオブジェクト115を、総称して「適合オブジェクト115」ともいう。

【0047】

本例では、4つの適合テンプレート111がフラッシュメモリ25に記憶されていたとする。4つの適合テンプレート111は、夫々、対応するテンプレート情報を備える。4つの適合テンプレート111は、属性名が『Title1』、『Text1』、『Text2』と対応する適合オブジェクト115A、115B、115Cを備える。適合オブジェクト115A、115B、115Cは、異なるオブジェクト情報を夫々備える。

【0048】

次いで、CPU21は、入力されたオブジェクトデータのうち、1のオブジェクトデータをRAM24から特定する（S105）。本例では、例えば、属性名が『Title1』のオブジェクトデータである『Template Label』が特定される。CPU21は、S103で取得された適合テンプレート111のうち、1の適合テンプレート111を特定する（S106）。本例では、例えば、適合テンプレート111A（図8参照）を特定する。

【0049】

CPU21は、S105で特定された1のオブジェクトデータが、S106で特定された1の適合テンプレート111の適合オブジェクト115の表示領域に収まるか否かを判断する（S107）。CPU21は、オブジェクトデータのデータサイズと、適合オブジェクト115のオブジェクト情報の表示領域のサイズとの比較を行う。

【0050】

CPU21は、オブジェクトデータが表示領域に収まると判断された場合（S107：YES）、CPU21は、オブジェクトデータを、適合オブジェクト115のオブジェクト情報に従い、反映させる（S109）。本例では、例えば、図8に示すように、オブジェクトデータの『Template Label』が、レイアウト調整なしで、適合テンプレート111Aの適合オブジェクト115Aに反映される。

【0051】

一方、オブジェクトデータが表示領域に収まらなると判断された場合（S107：NO）、CPU21は、参照したオブジェクト情報のレイアウト調整が可能な設定であるか否かを判断する（S109）。この場合、CPU21はS106で特定された適合テンプレート111について、適合オブジェクト115のオブジェクト情報を参照する。適合オブジェクト115に対するオブジェクトデータのレイアウト調整が可能でないと判断された場

10

20

30

40

50

合 (S 1 0 9 : N O)、 C P U 2 1 は、オブジェクトデータが適合オブジェクト 1 1 5 の表示領域に収まりきらないため、強調表示の対象とする (S 1 1 0)。 C P U 2 1 は、オブジェクトデータを、レイアウト調整なしで、そのまま適合オブジェクト 1 1 5 A に反映させる (S 1 1 7)。

【 0 0 5 2 】

本例では、例えば、 S 1 0 5 で特定されたオブジェクトデータが『 C r e a t e d b y B r o t h e r 』であり、且つ S 1 0 6 で適合テンプレート 1 1 1 D (図 8 参照) が特定された場合が想定される。図 8 に示す適合テンプレート 1 1 1 D の適合オブジェクト 1 1 5 B に『 C r e a t e d b y B r o t h e r 』がそのまま反映され、且つ強調表示される。

10

【 0 0 5 3 】

一方、レイアウト調整が可能であると判断された場合 (S 1 0 9 : Y E S)、 C P U 2 1 は、処理を S 1 1 1 に進める。オブジェクトデータのデータサイズによっては、レイアウト調整された場合でも、オブジェクトデータが適合オブジェクト 1 1 5 の表示領域に収まらない場合がある。従って、 C P U 2 1 は、レイアウト調整の後に、適合オブジェクト 1 1 5 の表示領域に収まるか否かを判断する (S 1 1 1)。

【 0 0 5 4 】

レイアウト調整された場合に、適合オブジェクト 1 1 5 の表示領域に収まると判断された場合 (S 1 1 1 : Y E S)、 C P U 2 1 は、レイアウト調整を行い (S 1 1 3)、オブジェクトデータを適合テンプレート 1 1 1 の適合オブジェクト 1 1 5 に反映する (S 1 1 7)。本例では、例えば、図 8 に示す適合テンプレート 1 1 1 B の適合オブジェクト 1 1 5 B に『 C r e a t e d b y B r o t h e r 』が改行されて表示される。

20

【 0 0 5 5 】

一方、 S 1 1 1 の処理で、レイアウト調整された場合にも、オブジェクトデータが表示領域に収まらなると判断された場合 (S 1 1 1 : N O)、 C P U 2 1 は、強調表示の対象とする (S 1 1 5)。 C P U 2 1 は、処理を S 1 1 7 へ進めて、オブジェクトデータを適合テンプレート 1 1 1 のオブジェクト 1 1 5 にそのまま反映させる (S 1 1 7)。本例では、例えば、図 8 に示す適合テンプレート 1 1 1 D の適合オブジェクト 1 1 5 B に『 C r e a t e d b y B r o t h e r 』が強調表示される場合が想定される。

【 0 0 5 6 】

次いで、 C P U 2 1 は、 S 1 0 3 で取得した全ての適合テンプレート 1 1 1 に対して、 S 1 0 5 で特定された 1 のオブジェクトデータが、反映されたかを判断する (S 1 1 9)。特定された 1 のオブジェクトデータが、全ての適合テンプレート 1 1 1 に反映されていないと判断された場合 (S 1 1 9 : N O)、 C P U 2 1 は、処理を S 1 0 6 に戻す。 C P U 2 1 は、未反映の 1 の適合テンプレート 1 1 1 を特定する (S 1 0 6)。 C P U 2 1 は、全ての適合テンプレート 1 1 1 に対して、 S 1 0 5 で特定された 1 のオブジェクトデータが反映されるまで S 1 0 6 ~ S 1 1 9 の処理を繰り返す。

30

【 0 0 5 7 】

一方、特定された 1 のオブジェクトデータが、全ての適合テンプレート 1 1 1 に反映されたと判断された場合 (S 1 1 9 : Y E S)、 C P U 2 1 は、処理を S 1 2 1 に進める。 C P U 2 1 は、 S 1 0 3 の処理で取得された全ての適合テンプレート 1 1 1 に、 S 1 0 1 で取得された全てのオブジェクトデータが反映されたか否かを判断する (S 1 2 1)。全てのオブジェクトデータが全ての適合テンプレート 1 1 1 に反映されていないと判断された場合 (S 1 2 1 : N O)、 C P U 2 1 は、処理を S 1 0 5 へ戻して、未反映の 1 のオブジェクトデータを特定する。 C P U 2 1 は、未反映のオブジェクトデータが全ての適合テンプレート 1 1 1 に反映されるまで、 S 1 0 5 ~ S 1 2 1 の処理を繰り返す。

40

【 0 0 5 8 】

本例では、図 8 に示すように、全ての適合テンプレート 1 1 1 A ~ 1 1 1 D の適合オブジェクト 1 1 5 A に、『 T e m p l a t e L a b e l 』が順次反映される。次いで、全ての適合テンプレート 1 1 1 A ~ 1 1 1 D の適合オブジェクト 1 1 5 B に、『 C r e a t

50

ed by Brother』が順次反映される。次いで、全ての適合テンプレート111A~111Dの適合オブジェクト115Cに、『2019/01/31』が順次反映される。

【0059】

CPU21は、全てのオブジェクトデータが、全ての適合テンプレート111に対して反映された場合(S121: YES)、CPU21は、強調表示の対象となる適合オブジェクト115を備えた適合テンプレート111を特定する(S123)。本例では、図8の適合テンプレート111Dが特定される。

【0060】

CPU21は、表示パネル31の候補画面65(図8参照)に、全てのオブジェクトデータが反映された適合テンプレート111を一覧表示させる(S125)。以下、表示パネル31の候補画面65に、一覧表示された適合テンプレート111A~111Dは、『候補画像111A~111D』ともいう。

10

【0061】

図8を参照して、候補画像111A~111Dについて説明する。本例では、候補画像111A~111Dは、表示パネル31の候補画面65に対して、同時に4つまで表示される。本例では、適合テンプレート111の数は4つであるため、全て表示されるが、例えば、S103の処理で取得された適合テンプレート111が4よりも多い場合には、ユーザは切り替え部52を操作部7により選択することで、未表示の候補画像を一覧表示可能である。

20

【0062】

候補画像111Aは、表示パネル31の候補画面65の先頭(左上)に表示される。『Template Label』、『Created by Brother』、『2019/01/31』は、上から順に並んで配置される。夫々のオブジェクトデータは、レイアウト調整なしで、適合オブジェクト115A~115Cに対してそのまま反映されている。

【0063】

候補画像111Bは、表示パネル31の候補画面65の右上に表示される。『Template Label』は、候補画像111Bの上側に配置される。『Created by Brother』は、候補画像111Bの左下に配置される。『2019/01/31』は、候補画像111Bの右下に配置される。『Template Label』は、レイアウト調整なしで、オブジェクト115Bに対してそのまま反映されている。『Created by brohter』は、レイアウト調整がなされ、改行されて適合オブジェクト115Bに反映されている。『2019/01/31』は、レイアウト調整がなされ、文字サイズ調整されて適合オブジェクト115Cに反映されている。

30

【0064】

候補画像111Cは、表示パネル31の候補画面65の左下に表示される。『Template Label』は、候補画像111Cの上側に配置される。『Created by Brother』は、候補画像111Cの右下に配置される。『2019/01/31』は、候補画像111Cの左下に配置される。『Template Label』は、レイアウト調整なしで、適合オブジェクト115Aに対してそのまま反映されている。『Created by brohter』は、レイアウト調整がなされ、文字サイズ調整且つ改行されて適合オブジェクト115Bに反映されている。『2019/01/31』は、レイアウト調整がなされ、改行されて適合オブジェクト115Cに反映されている。

40

【0065】

候補画像111Dは、表示パネル31の候補画面65の右下に表示される。『Template Label』は、候補画像111Dの左端に配置される。『Created by Brother』は、候補画像111Dの右上に配置される。『2019/01/31』は、候補画像111Dの右下に配置される。『Template Label』は

50

、レイアウト調整され、文字サイズが調整されて適合オブジェクト115Aに反映されている。『Created by Brohter』は、レイアウト調整なしで、そのまま適合オブジェクト115Bに反映されている。『2019/01/31』は、レイアウト調整なしで、そのまま適合オブジェクト115Cに反映されている。なお、候補画像111Dは、『Created by Brother』が表示領域に収まっていないため、強調表示されている。表示パネル31の候補画面65の一覧表示において、強調表示されている適合オブジェクト115Bを有する候補画像111Dは、一覧表示の末尾、すなわち、右下に配置される。

【0066】

次いで、CPU21は、テンプレート表示処理を終了して、処理を画像編集処理(図5参照)に戻し、S9の処理を実行する。CPU21は、所望のテンプレート111が受け付けられたか否か判断する(S9)。CPU21は、ユーザの操作部7の操作により、候補画像111A~111Dのうち所望のテンプレート111の選択を受け付けるまで待機する(S9:NO)。ユーザが印刷したい所望のテンプレート111、例えば、候補画像111Aを選択すると(S9:YES)、CPU21は、候補画像111Aに基づき、テーマMに対して印刷処理を実行する(S11)。CPU21は処理を終了する。

10

【0067】

以上説明した実施形態によれば、印刷装置18は、受け付けられたオブジェクトデータの全ての属性名に基づき、適合テンプレート111A~111Dを取得する(S103)。印刷装置18は、受け付けられた全てのオブジェクトデータを、取得された適合テンプレート111A~111Dの適合オブジェクト115A~115Cに反映する(S117)。また、印刷装置18は、全てのオブジェクトデータが反映された候補画像111A~111Dを、表示パネル31の候補画面65に表示する(S125)。故に、印刷装置18は、適切なテンプレート111のみにオブジェクトデータを反映し、且つユーザが所望のテンプレート111を選択しやすい。

20

【0068】

CPU21は、4つの候補画像111A~111Dを、表示パネル31の候補画面65に一覧表示させる(S125)。故に、ユーザは、所望のテンプレート111を選択しやすい。特に、表示パネル31の候補画面65が広い場合に有効である。

【0069】

CPU21は、4つの候補画像111A~111Dを、表示パネル31の候補画面65に一覧表示させ、強調表示の対象となるオブジェクトを有する候補画像111Dを、表示パネル31の候補画面65の末尾(右下)に表示させる(S125)。故に、ユーザは、所望のテンプレート111を選択しやすい。

30

【0070】

CPU21は、候補画像111A~111Dの適合オブジェクト115のうち、表示領域に収まらなると判断された候補画像111Dについて、強調表示する(S125)。故に、ユーザは、所望のテンプレート111を確認しやすい。

【0071】

オブジェクト情報は、オブジェクトデータが反映される適合オブジェクト115を特定する属性名を含む。CPU21は、受け付けられたオブジェクトデータの夫々の属性名を特定する(S101)。CPU21は、受け付けられた全てのオブジェクトデータを、適合テンプレート111の適合オブジェクト115のうち、特定された属性名と対応する適合オブジェクト115に夫々反映させる。故に、ユーザは、属性名に基づきオブジェクトデータが反映された適合テンプレート111を確認できるため、所望のテンプレート111を選択しやすい。

40

【0072】

本発明は、上記実施形態に限定されるものではなく、種々の変更が可能である。上記実施形態では、印刷装置18が印刷データを作成し、印刷処理を実行したがこれに限らない。画像編集処理(図5参照)が実行されるコンピュータは、印刷装置18に限定されず、

50

ユーザインタフェース機能を備えたコンピュータ（例えば、PCなど）であればよい。例えば、印刷装置18以外の外部端末がラベル画像を印刷するための印刷データを生成し、印刷装置18に対して印刷データが送信されてもよい。この場合、外部端末で、画像編集処理が実行されればよい。従って、ユーザは外部端末を操作することで、印刷装置18でラベルを作成することができる。画像編集処理で編集される画像は、ラベル画像に限定されず、ラベルとは異なる印刷物に使用される画像でもよいし、印刷以外の用途に使用される画像でもよい。

【0073】

上記実施形態では、CPU21は、属性名を特定して、対応するオブジェクト115に対して、オブジェクトデータを反映したがこれに限らない。例えば、CPU21は、属性名が『Text1』と『Text2』に対して、オブジェクトデータが入力されることがある（S3）。これらのオブジェクト情報B、Cのデータタイプは、テキストで同一である（図4参照）。この場合、CPU21は、同一のデータタイプのオブジェクト115のみを備えた適合テンプレート111を取得すればよい。CPU21は、取得された適合テンプレート111の適合オブジェクト115の何れかに対して、入力されたオブジェクトデータを反映させればよい。印刷装置18は、取得された適合テンプレート111の同一のデータタイプを有する適合オブジェクト115の何れかに対して、オブジェクトデータの何れかを反映できる。

10

【0074】

上記実施形態では、入力画面33は、最大で5つのオブジェクトデータを入力可能であったが、最大で6以上又は4以下の数のオブジェクトデータを入力可能であってもよい。入力画面33は、同一のデータタイプのオブジェクトデータのみを対象としてもよい。この場合、例えば、データタイプがテキストのみのオブジェクトデータが入力画面33で入力されることとなる。この場合、S103の処理では、オブジェクトデータと同数のオブジェクト115を備えたテンプレート111が適合テンプレート111として取得されてもよい。

20

【0075】

上記実施形態では、表示パネル31の候補画面65は、4つの候補画像111A~111Dを表示したが、5以上の数の候補画像を一覧表示してもよいし、3以下の数の候補画像を一覧表示してもよい。例えば、CPU21は、候補画像111A~111Dのうち、1つのみを表した候補画面65を、表示パネル31の候補画面65に表示させてもよい。ユーザは、候補画面65から所望のテンプレート111を選択しやすい。特に、印刷装置18の表示パネル31が狭い場合に有効である。この場合、表示パネル31は、切り替え部52による所定の切替指示に応じて、表示パネル31の候補画面65に表示される候補画像111A~111Dの何れかを、他の候補画像に切り替えできる。故に、印刷装置18は、ユーザが所望のテンプレート111を選択しやすい。また、この場合、CPU21は、候補画像111A~111Dのうち、S123の処理で特定された適合テンプレート111のみを表した候補画面65を、後に、表示パネル31の候補画面65に表示させてもよい。これにより、ユーザは、S123の処理で特定された適合テンプレート111のみを表した候補画面65を、後に、確認することとなる。従って、ユーザは、所望のテンプレート111を選択しやすい。

30

40

【0076】

上記実施形態において、フラッシュメモリ25は、本発明の「記憶部」に相当する。属性名は、本発明の「オブジェクト属性」、「特定情報」に相当する。候補画面65は、本発明の「一画面」に相当する。S3を実行するCPU21が、本発明の「受付手段」に相当する。S101を実行するCPU21が、本発明の「第一特定手段」に相当する。S103を実行するCPU21が、本発明の「取得手段」に相当する。S117を実行するCPU21が、本発明の「反映手段」に相当する。S125を実行するCPU21が、本発明の「表示手段」に相当する。S9を実行するCPU21が、本発明の「選択手段」に相当する。S11を実行するCPU21が、本発明の「印刷手段」に相当する。S107を

50

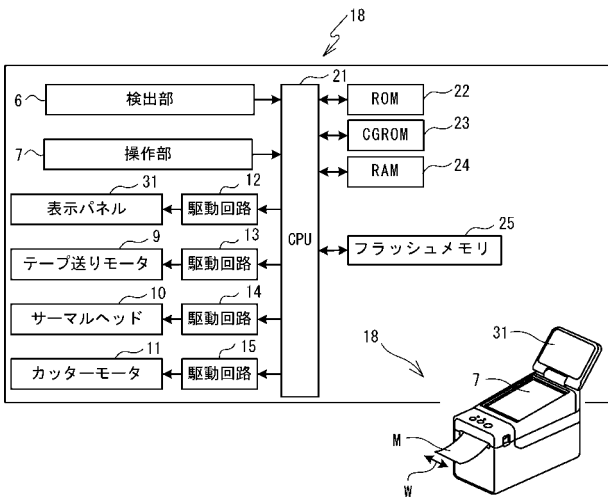
実行するCPU 21が、本発明の「第一判断手段」に相当する。S 1 1 3を実行するCPU 21が本発明の「レイアウト調整手段」に相当する。S 1 1 1を実行するCPU 21が本発明の「第二判断手段」に相当する。S 1 2 3を実行するCPU 21が本発明の「第二特定手段」に相当する。

【符号の説明】

【0077】

- 18 印刷装置
- 21 CPU
- 25 フラッシュメモリ
- 31 表示パネル
- 33 入力画面
- 65 候補画面
- 111 適合テンプレート
- 111A、111B、111C、111D 候補画像
- 115A、115B、115C 適合オブジェクト

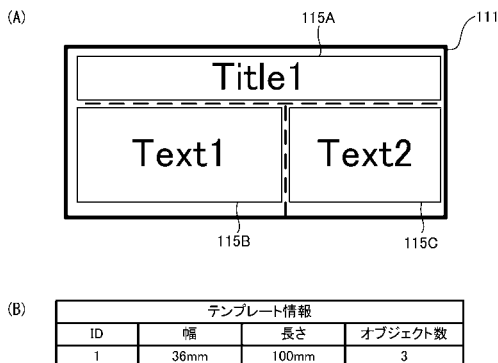
【図1】



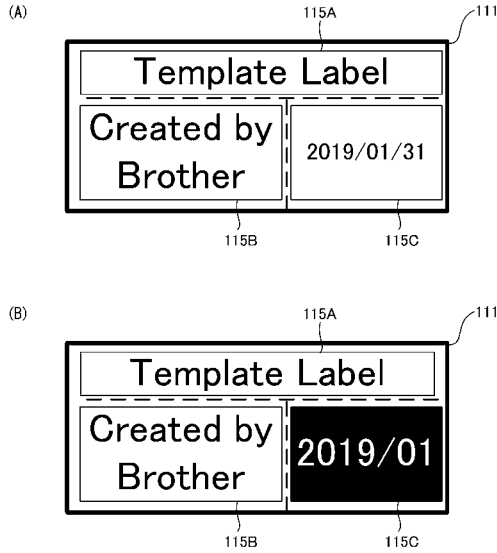
【図3】

オブジェクト情報A			
属性名	位置X	位置Y	書式
Title1	25dot	100dot	ゴシック, 20pt, 太字
Title2	25dot	80dot	テキスト
オブジェクト情報B			
属性名	位置X	位置Y	書式
Text1	25dot	150dot	ゴシック, 18pt
Text2	55dot	150dot	テキスト
オブジェクト情報C			
属性名	位置X	位置Y	書式
Text1	25dot	200dot	ゴシック, 20pt
Text2	55dot	200dot	テキスト

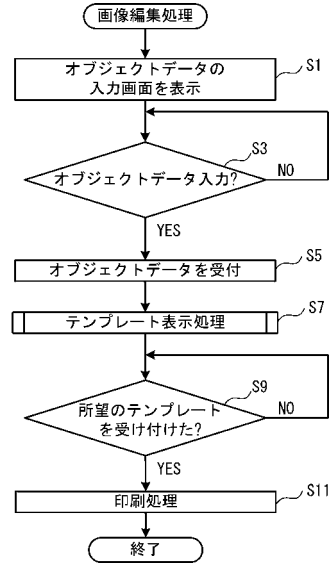
【図2】



【 図 4 】



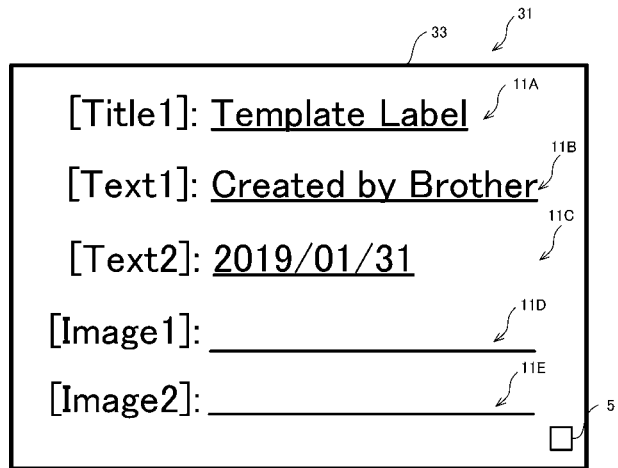
【 図 5 】



【 図 6 】



【 図 7 】



【 8 】

